

## 生物多様性評価を利用した環境価値の見える化

利用対象：水稻生産者等

### 背景・目的

- 環境保全型農業による公益的な価値（環境価値）を消費者に伝えたい。
- そのためには、環境価値を消費者にわかりやすく伝えるツールが必要。
- 生物多様性を評価し、環境価値を消費者に「見える化」する取り組みを行った。

### 生物多様性評価の指標生物



カエル類



イトトンボ類



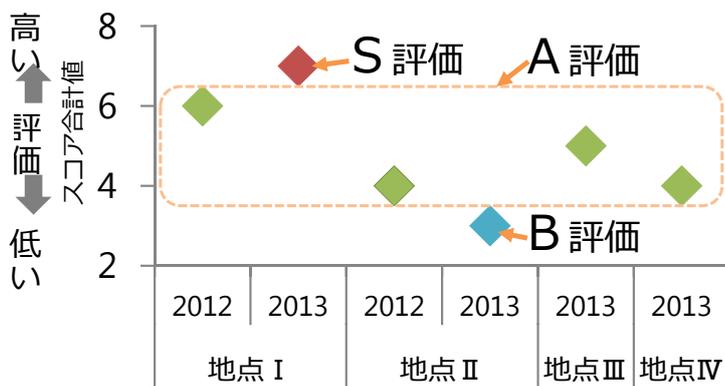
アシナガグモ類



コモリグモ類

- これら 4 種類の指標生物は観察しやすい。
- 調査方法も簡単で取り組みやすい。
- 指標生物は害虫の捕食者で農業に有用である。
- 調査マニュアルが公開されている。

### これまでの評価結果と商品化の取り組み



環境保全型の水稲栽培を実践している地域における  
生物多様性評価結果（2012年，2013年）



商品に評価結果を表示した販売事例

お問い合わせ先	農産物安全安心研究課 西野 実、大仲桂太 中央農業改良普及センター 水谷 嘉之	電話 0598-42-6360 電話 0598-42-6715
参考になる資料	農業に有用な生物多様性の指標生物調査・評価マニュアル (独)農業環境技術研究所HP <a href="http://www.niaes.affrc.go.jp/techdoc/shihyo/">http://www.niaes.affrc.go.jp/techdoc/shihyo/</a> 三重農研HP: <a href="http://www.mate.pref.mie.lg.jp/marc/KenSeika/index.htm">http://www.mate.pref.mie.lg.jp/marc/KenSeika/index.htm</a>	